

リニューアル完成 オープン

があります。「地球と水」「水を使う」「神戸市水道」「震災の記憶と記録」などの

水の科学博物館のリニューアル工事が完成し、3月9日オープンしました。午前10時からの式典で水口和彦水道事業管理者は「設備が古くなったため、11月から休館し工事を始めた。水博は国の登録有形文化財に指定されるほど貴重な建物。子々孫々に伝え、水の大切さや市の水道事業を理解していただくよう努めます」と挨拶。前もって、神戸市の小学校163校を通じ、チラシ約9万枚を配って周知したため、出足は好調。お天気が良かったこともあり、228人が来館しました。



リニューアルは1階テーマシアターの前面にあった噴水を取り払い、ステージを作り替えました。講演会や地域の人々から市民の発表の場として活用します。ステージでパフォーマンスを演じる人は演技しやすく、見る人も良く見えるようになりました。プロジェクターも設置、パワーポイントで作成した誌面を大画面で映し出せます。

1階フロアの奥にあったジャングルジム、水のサーカスを取り払い、「水の実験室」のスペースを拡大、設備も充実。実験を間近で見て水の大切さや不思議さを体験できます。

2階にはレタスなどの水耕栽培セットと希少種のカワバタモロコと熱帯魚の水槽を新しく設置。ビデオを見ることができるモニター4台で「スペースシャトルの水」「アメリカの大規模灌漑」「砂漠の井戸」「サウジアラビアの海水淡水化」などを上映。「汚れを取って水をきれいにしよう」というバーチャルゲームもあります。モニターに善玉菌、悪玉菌が流れ、手を動かして悪玉菌をたくさん取れば取るほど点数が高くなり、子どもも大人も「ワイワイ」歓声をあげて大はしゃぎ。

2階にはテーマごとに縦横数メートルの大パネル

テーマで分かりやすく説明します。若いお母さんの強い要望があって2組が利用できる授乳室を設けました。水博を訪れた近所の家族連れは「設備が一新され、きれいになりました。面白いものが増えたので、これまでよりも来る機会が増えそうです」と話していました。(文・写真 広報 永野 知己)

リニューアル記念イベントを開催

3月25日(土)と26日(日)の2日間、水の科学博物館のグラウンドで、【むかし遊びを体験しよう!】をテーマにリニューアル記念イベントを開催し、約833名の来場者がありました。



グループわ から『むかしあそび研究会』『うらしまたろう』『わらい届け隊』そして本部数名がイベントを盛り上げるために奮闘しました。来場者の中にはスエーデン人の男女3人組がおられ、皿回しなどに果敢に挑戦されました。

(文・写真 広報 藤田 健一)

こんにやく作り教室を開く

水の科学博物館のイベント、こんにやく作り教室が1月29日午前10時から同館で開かれ、親子連れ10組、23人が参加。講師はグループわ のKSCマジッククラブの南形公子さん(福13)=写真下左端。サポート役に〈わ〉の5人。

こんにやくイモ1kgをたわしでよく洗い、皮をむき、4つ切りにし厚さ0.7センチに切ります。鍋に入



れ、20分から30分茹で、これをミキサーにかけてつぶし、タライに入れて1時間放置。お湯で溶いた炭酸ナ

トリウムを加え、粘りが出るまで練るとこんにやくの完成。1個150g位を手につけながら丸め、お湯に入れて30分茹で、冷水につけてアクを抜くと食べられます。途中空いた時間にマジックショーも開きました。

(文・写真 広報 永野 知己)